

国民の“いのちと暮らし、最優先に 日本の政治の新しい時代をつくりだそう！



緊急政策を記者会見で発表する（左から）大山とも子・都議団長、田辺良彦・都委員長、谷川智行・都副委員長（5月20日・東京都庁）

あなたの 日本共産党への入党を 心からよびかけます

日本共産党の名前には、党創立以来の歴史と 未来社会の理想がこめられています

日本共産党という名前は、「みんなが平等で自由に生きることができる共同の社会をめざす」という未来社会への展望を示しています。語源は、「コミュニティ」と同じです。

戦前、日本共産党は政党としてただ一つ、戦争反対を貫き、平和と民主主義をかかげ、国民主権の日本を築くために、命がけでたたかいました。戦後も、中国の毛沢東派やソ連といった「社会主義」を看板にした国が自分たちの言いなりになるように圧力をかけてきましたが、きっぱり拒否し、国民のためにがんばり続けてきました。

日本共産党の名前には、こうした不屈の歴史の重みとともに、ロマンと希望にみちた未来社会の理想がこめられています。

希望ある未来を拓くために一緒にあゆみましょう

日本共産党東京都委員会

2020年6月発行／日本共産党東京都委員会【部内資料】
〒170-0004 豊島区北犬塚1-33-26 ☎03-5972-1621（代表）

日本共産党員としての活動は

18歳以上の日本国民で、日本共産党の綱領と規約を認める人は、党員になれます。

日本共産党は、日本の社会を「真に平等で自由な人間関係からなる共同社会」に発展させることをめざしています。

日本共産党の綱領は、日本と世界の歴史と現実をふまえ、この社会がどんな発展段階をへて、また、どんな道すじにそって前進するのか、日本共産党は、未来社会への道をどのように切りひらいてゆくのか、それを明らかにしたものです。

党の規約は、日本共産党の活動をすすめてゆくための党の自主的ルールです。一般の団体でいえば「会則」にあたるものです。

私たちは、社会の進歩をめざすものとして、日常生活のうえでも、まわりの人たちから人間的にも信頼される人間でありたいと心がけています。

一人ひとりの党員は、それぞれの条件と得手を最大限に生かし、協力しあって活動します。

入党のお申し込みは

入党申込書に必要な事項を記入し、お知らせの党員2人の推薦をうけ、入党費300円をそえて申し込みます。

四つの大切

「四つの大切」は、日本共産党員みんながとりくむ活動です

●支部会議に参加します

支部会議は、まわりの人びとの利益のためにどんな活動をしてゆくのか、どんな党をつくるのか、目標や方針をみんなで相談し、決める場です。同時に、支部会議は、党員同士のあたたかい人間的信頼関係を築き、励ましあい、成長してゆく大切な場です。

●党費（実収入の1パーセント）をきちんと納めます

日本共産党は、政党助成金や企業・団体献金を受け取っていません。党の財政は、一人ひとりの党員が納める党費や「しんぶん赤旗」の購読料などで支えられています。入党した月から党費を納めることは、日本共産党を財政的に支える誇りある活動です。

●「しんぶん赤旗」（日刊紙）を読みます

日本の巨大マスメディアは、「権力の監視」「真実を伝える」という「社会の公器」としての本来の役割を果たしていません。そのなかで、「しんぶん赤旗」は、真実を伝え、希望を運び、国民のたたかいのよりどころとして、かけがえのない役割を果たしています。

とくに、「しんぶん赤旗」日刊紙を読むことは、党員が希望をもつて暮らし、確信と展望をもって活動するみなものです。

●学習につとめ活動に参加します

一人ひとりの党員が、どんな情勢のもとでも、未来への科学的確信と展望をもつて、活動し、成長していくうえで、党綱領や科学的社会主義の学習はかせません。また、党大会決定や中央委員会総会決定の学習にも最優先でとりくみます。

いのちと暮らしの危機を打開し、希望ある未来をぐいっしょに

——あなたの入党を心からよびかけます

日頃から日本共産党をご支援いただき、ありがとうございます。新型コロナウイルスの感染が収束しないもと、いかがお過ごしでしょうか。

多くのみなさんが、いのちの不安、暮らしと営業の不安を抱えていらっしやることと思います。こういう時だからこそ、私たちは「国民の苦難軽減」という立党の精神にたつて、国会・都議会・地方議会でも、そして地域、職場、学園の草の根でも、いのちと暮らしの危機から国民を守るために全力をあげています。

コロナ危機を乗り越えるためにも、そしてコロナ収束後、前の社会に戻るのではなく、日本でも世界でも、いのちと暮らしを最優先するよりよい社会をつくっていくためにも、ぶれることなく国民のために頑張る日本共産党が、強く大きくなることが求められています。あなたが日本共産党に入党され、希望ある新しい日本をつくる仕事に力をあわせていただくことを心からよびかけます。

——日本共産党の「提案」と国民の世論が政治を動かしている

日本共産党は「感染爆発、医療崩壊を止める緊急提案」をはじめ、国政で積極的提案をすすめるとともに、都政でも感染を防止し国民の命と暮らしを守る緊急政策を提案し、その実現のために力をつくしています。そこで提起した内容は多くの人たちの一致した要求となり、「1人10万円」の給付金や家賃支援、雇用調整助成金の拡充、学生支援など、政治を動かすはじめています。同時に、第2波、第3波も予想されるなかで、鍵になるPCR検査の抜本的拡充や医療体制の抜本的強化、暮らしの困難に対する補償の拡充がいよいよ重要になっています。

この間、検察のトップ人事に政権の介入を狙った検察庁法改定案に対し、1千万超という空前のツイッターデモが起き、安倍政権は今国会での成立断念に追い込まれました。日本の民主主義の底力が示されたといえます。さらに同法の出発点となった東京高検の黒川弘務前検事長が賭けマージャンの発覚で辞職し、その処分軽さをめぐっても批判の声が大きく広がっています。政府の新型コロナウイルスへの対応の遅れを含めて、「こんな政権に政治をまかせられない」という国民の怒りが爆発し、安倍内閣の支持率は急落しました。

来たる総選挙は、いよいよ安倍政権を終わらせ、野党連合政権への道をひらく選挙です。7月5日投票でたたかわれる東京都知事選挙でも市民と野党の共闘で、都民のいのちと暮らし最優先の都政に転換しようではありませんか。

——日本と世界のあり方がするどく問われている——未来社会への展望を示す党綱領

コロナ危機を通じて、いま「日本と世界のあり方はこれでいいのか」という真剣な探求が、大きく広がっています。

すべてを市場原理にまかせて、利益や効率を優先する「新自由主義」の破たんが、日本でも世界でもはつきりしました。疲弊する保健所や病院からの悲鳴は、医療や社会保障切り捨てがもたらした深刻な弊害によるものです。東京では、かつて71カ所あった保健所が、現在31カ所へと削減されるなど、「感染症に弱い社会」になってしまいました。使い捨て労働の広がりや内需・家計を犠牲にした外需だのみの経済のありかた、社会に根深く残るジェンダー差別も、その深刻さがあぶりだされました。日本共産党の綱領は、危機のなかで問われている政治と経済、社会のあり方をおもとから変える日本の民主的改革的道すじを明らかにしています。

また、コロナウイルスの世界的感染拡大（パンデミック）は、格差拡大という点でも、自然環境の破壊という点でも、その矛盾をさらに激化させ、利潤第一主義を本性とする資本主義という体制そのものをこのまま続けてよいのか、その是非が問われる問題にもなっています。アメリカのWHO（世界保健機関）からの脱退表明や中国の人権侵害と覇権主義という体制の問題点は、深刻なパンデミックに立ち向かう国際協調にとっても大きな障害となっています。

党綱領は、20世紀に進行した人類史の巨大な変化の分析に立ち、21世紀の世界の希望の流れをとらえ、発達した資本主義国である日本での私たちのたたかいが、資本主義の限界をのりこえ、「社会のすべての構成員の人間的発達を保障する」未来社会（社会主義・共産主義）へとつながっていく展望をあきらかにしています。この機会に、ぜひ、綱領をお読みください。

——あなたの人生を社会進歩と重ねて

日本共産党は、2022年7月に創立100周年を迎えます。日本も世界も大激動の時代、歴史をつくり未来をひらく生き方にふみだそうではありませんか。自分のしあわせと社会の進歩を重ねて生きる、生きがいのある人生を送り、次の世代の人々に歴史をつなぐようではありませんか。あなたが入党され、新しい人生をふみだされることを、重ねて心からよびかけます。

